

教育方法23 新しい学力観と教育実践

- | | | |
|-----|---------------------------------|--------|
| I | 「新しい学力観」を問う | |
| 一 | 関心、倫理、知識の相互関連について | 日比 裕 |
| 二 | 学力の本質・構造・機能 | 稲葉 宏雄 |
| 三 | 「観点別評価」の根本的見直しを | 駒林 邦男 |
| II | 「教科」概念の検討 | |
| 一 | 「教科」概念の検討 ―到達度評価の立場から― | 清水 毅四郎 |
| 二 | 近代学校教育における「教科」学習の成立とその基本理念 | 山崎 準二 |
| III | 教育における「体験」概念の検討 | |
| 一 | 学校における教育的「体験」場面の歴史的検討 | 新井 孝喜 |
| 二 | 身体を媒介した学習の〈知〉的可能性 ―生活科授業の分析を通して | 寺西 和子 |
| IV | 中等教育実践の課題と方向 | |
| 一 | 高校教育実践再編成の課題と条件を探る | 乾 彰夫 |
| 二 | 中学校における「個性化」教育のシステム開発 | 木原 俊行 |
| 三 | 総合学科新設をめぐる高校教育改革の課題と方向 | 西尾 範博 |